



Sports Pharmacist スポーツファーマシスト

カテゴリー別合同練習会

アンチ・ドーピング講習会

鳥取県薬剤師会 スポーツファーマシスト委員会

スポーツファーマシスト 上原 隆

令和5年9月30日
お台場公園テニスコート

そもそも『ドーピング』って 知ってますか？



- スポーツにおいて禁止されている物質や方法によって競技能力を高め、意図的に自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとする行為

なぜドーピングはダメなの？

スポーツの基本理念

フェアプレー

ドーピング禁止の理由

- 反社会的行為である
 - ➡ 薬物汚染、スポーツ育成に悪影響
- 健康を害する
 - ➡ 副作用で選手の健康に有害
- フェアプレーに反する行為
 - ➡ スポーツの基本理念に反する
- スポーツの価値を損なう行為
 - ➡ スポーツの文化的価値の高まり

教育における戦略計画

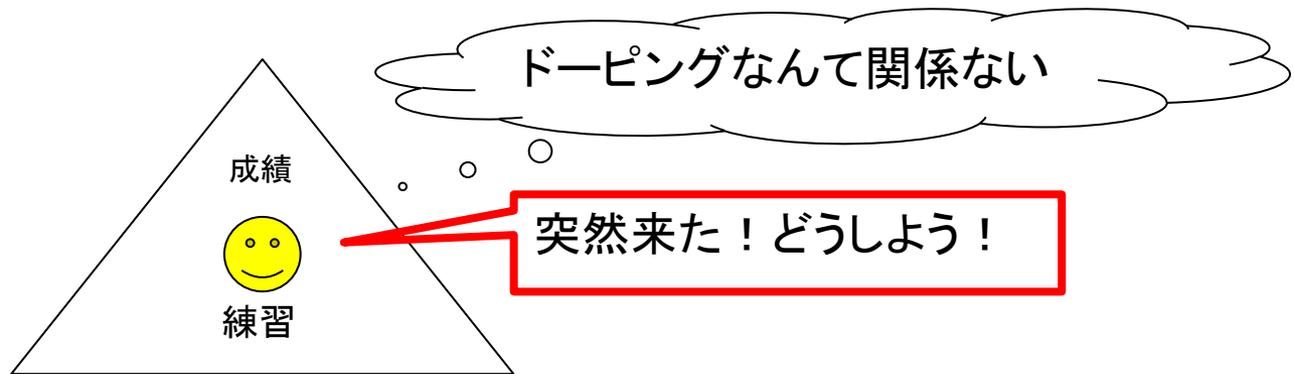
2021版世界アンチ・ドーピング規程及び教育に関する国際基準等に則したアンチ・ドーピング教育の推進のため、スポーツ庁委託事業の一環として「2021Code/ISEの履行に向けた教育に関する検討会議」を設置し、日本オリンピック委員会、日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、日本スポーツ協会、日本スポーツ振興センター、大学スポーツ協会、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟及び有識者が参画し、JADA及び国内スポーツ関係団体が対応すべき事項を戦略計画としてとりまとめました。

▶ 2021Code/教育に関する国際基準の履行に向けた戦略計画

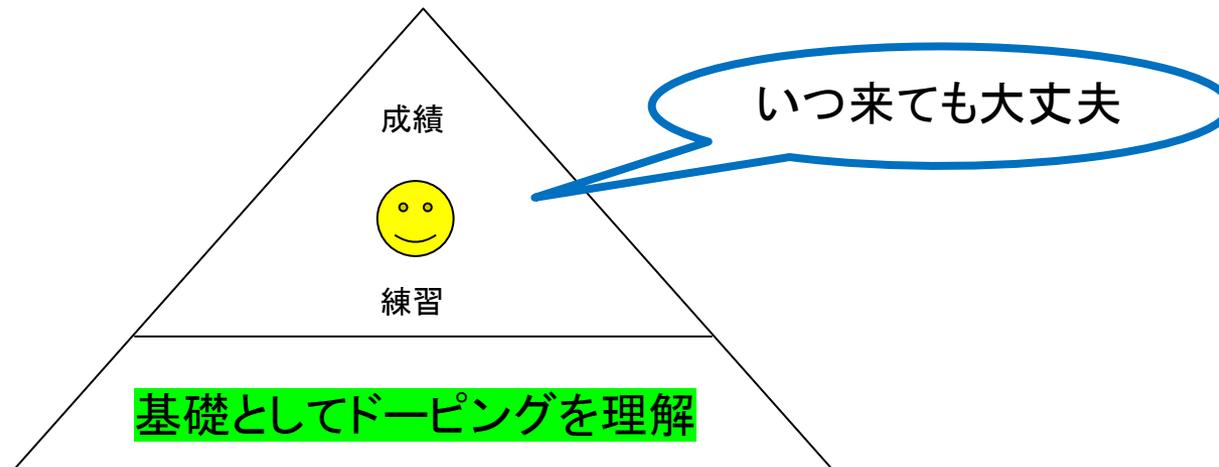


アンチ・ドーピングの位置づけの変化

- 以前は海外での遠い世界の出来事



- 今は基礎となる知ってて当然のこと



国体におけるアンチ・ドーピング教育の義務化

国民体育大会に参加する選手は必ずこの用紙に署名捺印の上、大会期間中は常に携帯してください。

国民体育大会ドーピング検査 同意書

国民体育大会 選手カード

選手本人
選手証
貼付

選手氏名 (白印) _____

生年月日 (西暦) _____年 ____月 ____日 性別 男・女

選手が18歳未満の場合
保護者氏名 (白印) _____

所属都道府県 _____

競技・種目名 _____

【国体本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴】
国体本戦出場前1年以内に受講したアンチ・ドーピング教育について記入してください。
①JSPD 指定研修会等受講/②JADA 又は JSPD ホームページ動画視聴/③JADA 又は JSPD 作成資料・教材閲覧等
番号 _____年 ____月 ____日に受講済み

【受講内容】
①研修会の主催者・名称、②動画名称、③資料・教材名のいずれかを記入

● この内容は、国体本戦出場前に必ず記入すること。
● 大会期間中または大会期間後に主催者等から提示または提出を求められることがあるため、大会期間中は常時携帯の上、大会終了後も大切に保管しておくこと。

Ver. 2022

国民体育大会アンチ・ドーピング教育履歴確認カード

選手・保護者用

氏 名 _____

参加都道府県 _____

競技・種目名 _____
※監督のみ記入

参加区分 監督・スポーツドクター・アスレティックトレーナー
※いずれかに○印を記入

【国体本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴】
国体本戦出場前1年以内に受講したアンチ・ドーピング教育について記入してください。
①JSPD 指定研修会等受講/②JADA 又は JSPD ホームページ動画視聴/③JADA 又は JSPD 作成資料・教材閲覧等
番号 _____年 ____月 ____日に受講済み

【受講内容】
①研修会の主催者・名称、②動画名称、③資料・教材名のいずれかを記入

● この内容は、国体本戦出場前に必ず記入すること。
● 大会期間中または大会期間後に主催者等から提示または提出を求められることがあるため、大会期間中は常時携帯の上、大会終了後も大切に保管しておくこと。

←監督・スポーツドクター・アスレティックトレーナー用

選手・監督、本部役員帯同のスポーツドクター、アスレティックトレーナー、少年種別に参加する選手の保護者は、本大会又は冬季大会参加前の1年以内に日本スポーツ協会が指定するアンチ・ドーピング教育を受講する。

■ 令和4（2022）年6月7日～令和5（2023）年3月31日
国体本戦出場前（参加申し込みエントリーまでに）のアンチ・ドーピング教育受講を**努力義務**とする

※第77回本大会（栃木県）/特別大会
冬季大会（青森県・岩手県）

■ 令和5（2023）年4月1日～
国体本戦出場前のアンチ・ドーピング教育受講を**完全義務化**とする

※特別大会本大会（鹿児島県）～

JSPDホームページ（ドーピング検査・アンチ・ドーピング教育）
https://www.realchampion.jp/who/kokutai_education.html



少年の部 出場選手・保護者

▼ 参加のための教育ステップ ▼



少年の部

STEP 1

少年の部向け
＜ウェビナー＞を
視聴する

ウェビナーで必要な知識を確認し
よう



視聴する



STEP 2

理解度チェックのための
＜レベル1＞を受講

クイズで理解度を深めよう



特別国体
参加者用登録コード

kagoshima2023

レベル1 を受講



ドーピングの定義（WADA規定）

ドーピングとは、以下のアンチ・ドーピング違反行為の1つ以上が発生すること

1. 採取した尿や血液に禁止物質が存在すること
2. 禁止物質・禁止方法の使用または使用を企てること
3. ドーピング検査を拒否または避けること
4. 居場所情報関連の義務を果たさないこと
5. ドーピング・コントロールを妨害または妨害しようとする事
（文章の偽造、偽造の証言の提供も含む）
6. 正当な理由なく禁止物質・禁止方法を持っていること
7. 禁止物質・禁止方法を不正に取引し、入手しようとする事
8. アスリートに対して禁止物質・禁止方法を使用または使用を企てること
9. アンチ・ドーピング規則違反を手伝い、促し、共謀し、関与する、または関与を企てること
10. アンチ・ドーピング規則違反に関与していた人とスポーツの場で関係を持つこと
11. ドーピングに関する通報者を阻止したり、通報に対して報復すること

 NEW

WADA禁止表(2023年)

常に禁止される物質と方法 (競技会(時)および競技会外)

[禁止物質]

- S0. 無承認物質
- S1. 蛋白同化薬
- S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質
および模倣物質
- S3. ベータ2作用薬
- S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬
- S5. 利尿薬および隠蔽薬

[禁止方法]

- M1. 血液および血液成分の操作
- M2. 化学的および物理的操作
- M3. 遺伝子および細胞ドーピング

競技時検査で禁止される物質と方法

[禁止物質]

- S6. 興奮薬 a特定物質でない興奮薬
b特定物質である興奮薬
- S7. 麻薬
- S8. カンナビノイド
- S9. 糖質コルチコイド

特定競技において禁止される物質

- P1. ベータ遮断薬

2023年禁止表国際基準変更点一覧

20の変更点概要	セクション
1：17α-メチルピチオスタノールが新たに明示	S1.蛋白同化薬
2：アンドロスト-4-エン-3,11,17-トリオンが別名ともに新たに明示	S1.蛋白同化薬
3：食肉への混入で話題の成分が明示	S1.蛋白同化薬
4：注目のSARMに新たに2成分が明示	S1.蛋白同化薬
5：中分類の番号表記の変更	S4.ホルモン調節薬および代謝調節薬
6：ミオスタチン中和抗体の前駆体が禁止。1成分具体例として明示	S4.ホルモン調節薬および代謝調節薬
7：冒頭の文言が改定	S5.利尿薬および隠蔽薬
8：トラセミドが新たに明示	S5.利尿薬および隠蔽薬
9：利尿薬と一緒に使っても、TUE申請の必要がない成分が明示	S5.利尿薬および隠蔽薬
10：国内未承認の鎌状赤血球症の治療薬が新たに明示	M1.血液および血液成分の操作
11：サプリメントへの混入で話題になったあの成分の別名が追加	S6.興奮薬
12：国内未承認のナルコレプシーの治療薬が新たに明示	S6.興奮薬
13：イミダゾリン誘導体の耳への使用可	S6.興奮薬
14：2024年から痛み止めのトラマドールが禁止！	S7.麻薬
15：糖質コルチコイドの耳への使用可	S9.糖質コルチコイド
16：特定競技にミニゴルフが追加	P1. ベータ遮断薬
17：水中スポーツも常にベータ遮断薬を禁止へ	P1. ベータ遮断薬
18：GnRHアナログ製剤の使用状況を18歳未満の女性選手に対して調査へ	監視プログラム
19：ロシア選手から検出され話題になった成分が追加	監視プログラム
20：S7.麻薬の監視プログラムに例が追加	監視プログラム

今年、「S0.無承認物質」、「S2.ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質」、「S3. ベータ2作用薬」、「M2.化学的および物理的操作」、「M3.遺伝子および細胞ドーピング」、「S8.カンナビノイド」の6セクションにおいては変更がありませんでした。

個人への制裁措置

個人に対する制裁として、資格停止、個人の成績の失効、獲得したメダル・得点・賞金のはく奪を含む一定の措置が課されます。 **Code 10**



チームに対する制裁措置

- チームスポーツにおいて、チーム構成員の2名以上が競技会に関連して違反となった場合は、競技大会主催の機関が、競技大会期間中に、そのチームに対して特定対象検査を実施します。また、違反したアスリート個人に対して制裁が課されま
- チームスポーツにおいて、チーム構成員の3名以上が競技大会の期間中に違反となった場合は、①違反をしたアスリート個人に対する制裁、②競技大会主催機関や国際競技連盟が、チームに対しても適切な制裁（例えば、得点のはく奪や、競技会におけるチームの失効措置等）を課します。

Code 11





室伏広治選手

「ドーピングに関しては、いろいろな面で厳しい目がありますから、自分が潔白だということを証明するために、ちゃんと記録を出すこととセット。」

「一流の条件 = 記録 + クリーンであること」

ドーピング検査の流れ

ドーピング検査の手順

- 1** 選手にドーピング検査を行うという通告、できるだけ早くドーピング検査室で受付



- 2** ドーピング検査室で受付



- 3** 待合室で飲み物を飲みながら待機する



- 4** 検査室で採尿カップを選ぶ



- 8** 尿検体を採尿カップからBボトルへ30ml残りをAボトルへ入れる



- 7** 箱からA、Bボトルを取り出し、状態を確認



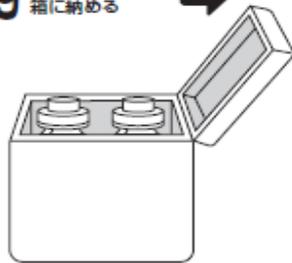
- 6** サンプルキットの選択



- 5** 専用トイレで採尿カップに尿検体を入れる(90ml以上)同性のDCOが立会って確認



- 9** A、Bボトルを箱に納める



- 10** 検査の日から7日以内に使用した薬物・サプリメントを申告する



- 11** 公正に検体採取作業が行なわれたことを確認して署名をする



- 12** 終了 (DCOは原本を保管、選手は控えを受取る)



うっかりドーピングとは？

競技力向上を目的にドーピングで使用する薬物は決して特別な薬ではなく、病気を治療するために使用される医薬品も多く含まれています。

たとえば市販の風邪薬や健康食品、サプリメントなどにも含まれている場合があります。これら禁止物質を含む医薬品などを、**それとは知らずに**病気を治療する目的で服用し、結果的にドーピング違反になってしまうことを「**うっかりドーピング**」といいます。残念なことに、うっかりドーピングで違反になってしまう選手が毎年数名いるのも事実です。

2015年～2022年度で、うっかりドーピングと推測される事例(出場停止が減免されている事例)

- ・ツロブテロール・・・喘息の治療で使われるが、 β 2作用薬として禁止されている。代表的な商品にホクナリン錠、同テープがある。



- ・プレドニゾン・・・医療用ステロイド剤。外用での使用は問題ないが、内服・注射では糖質コルチコイドの分類で禁止されている。



- ・メチルエフェドリン・・・市販の風邪薬によく含まれるが、興奮薬として禁止されている。



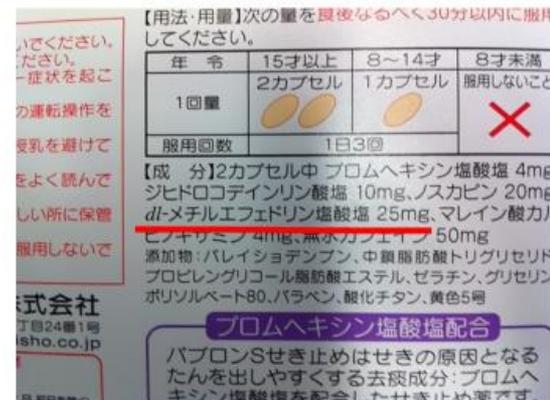
風邪薬に注意

多くの総合感冒薬には禁止物質が含まれている × **エフェドリン**

× **メチルエフェドリン** × **プソイドエフェドリン**

葛根湯、小青竜湯・・・マオウ（エフェドリン）

浅田飴・・・マオウエキス



競技時使用不可！！

うっかりドーピングの要因

漢方薬・生薬に注意

漢方薬の成分に禁止物質が含まれています。

葛根湯・麻黄湯：マオウ＝**エフェドリン**

呉茱萸・ブシ・南天実：**ヒゲナミン**

ホミカ：**ストリキニーネ**



名前が同じでも製造会社、原料の産地、収穫の時期などで成分が違ふことがあるので注意

使用しないことが望ましい

医療用医薬品で注意するもの

▪ 利尿剤

血圧降下剤にも最近では利尿剤が配合されている合剤が増えている

▪ 喘息治療薬

すべてのベータ2作用薬は禁止されていますが、ホルモテロール・サルブタモール・サルメテロール・ビランテロールが製造販売会社によって推奨される治療法に従って吸入される場合は使用可能

▪ その他

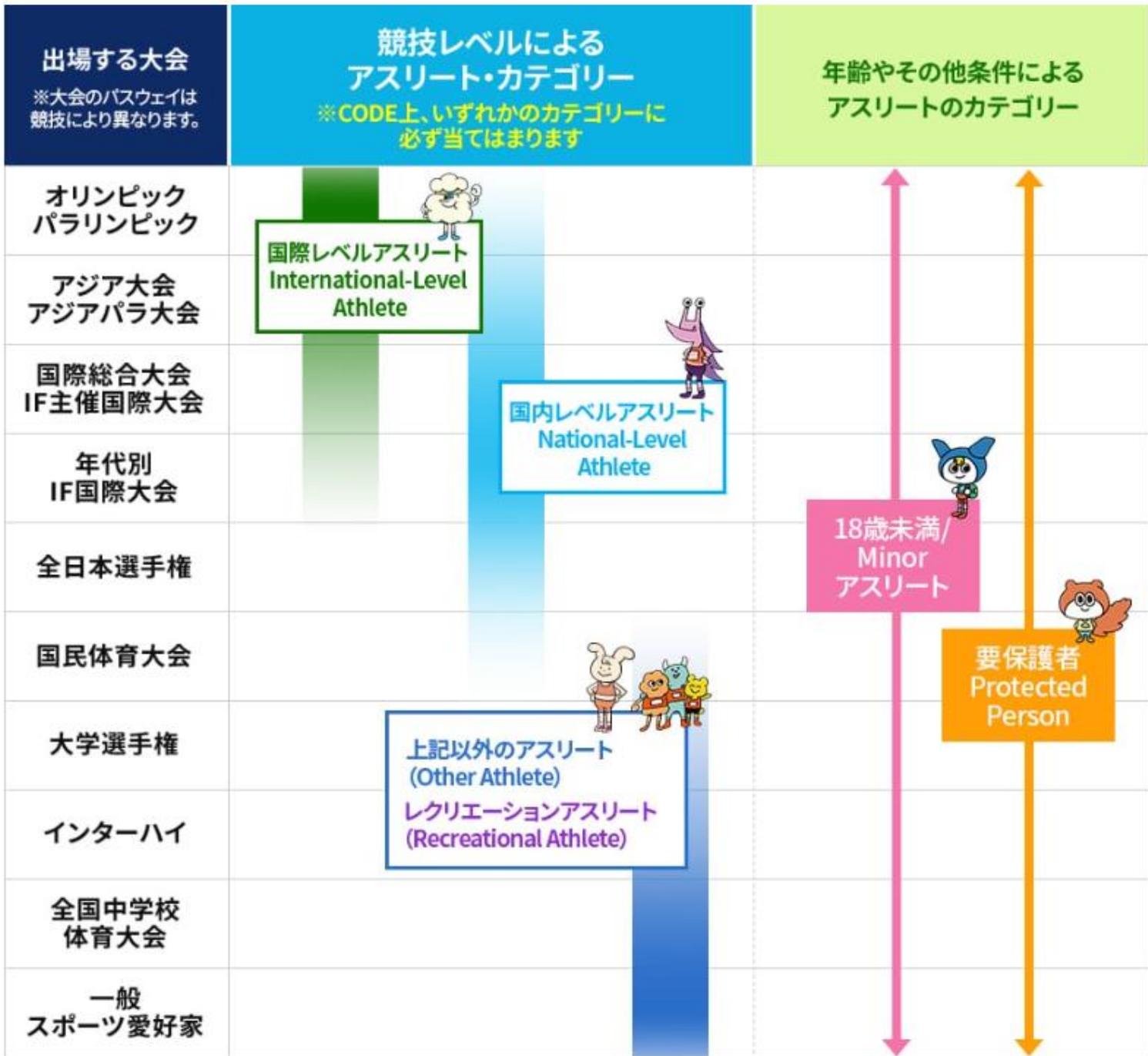
成長ホルモン、婦人科領域のホルモン剤、ADHD治療薬コンサータ、内服・注射のステロイド剤

TUE申請

- 治療目的使用に係る除外措置
(Therapeutic Use Exemptions : TUE)
- 禁止物質・禁止方法の使用を要する医学的状態（病気やケガ）にある競技者が申請して、認められれば、禁止物質・禁止方法を治療目的で使用することができる。

薬物治療が必要なアスリートが参加する権利も用意されています！





上記以外のアスリート / Other Athlete

過去5年間のうちに国際・国内レベルアスリートであったアスリート

国際レベルアスリートまたは国内レベルアスリートではないアスリートのなかで、過去5年間に、以下に該当するアスリート

- 「国際レベルアスリート」または「国内レベルのアスリート」であった者
- オープン・カテゴリーで国際競技大会においていずれかの国を代表したことがある者
- IF/JADAによりRTP/TPもしくはその他のプールに登録された者

◆ ルールの適用：日本アンチ・ドーピング規程が適用

◆ TUE申請：TUE申請先はJADAの窓口

TUE申請のタイミングはドーピング検査で禁止物質が検出され、アンチ・ドーピング機関から連絡を受けたあと、必要に応じTUE申請を行うことができます

◆ 規則違反に対する制裁：柔軟な対応なし



レクリエーションアスリート / Recreational Athlete

国際レベルアスリートまたは国内レベルアスリートではないアスリートのなかで、過去5年間に、以下に該当しないアスリート

- 「国際レベルアスリート」または「国内レベルのアスリート」であった者
- オープン・カテゴリーで国際競技大会においていずれかの国を代表したことがある者
- IF/JADAによりRTP/TPもしくはその他のプールに登録された者

◆ ルールの適用：日本アンチ・ドーピング規程が適用

◆ TUE申請：TUE申請先はJADAの窓口

TUE申請のタイミングはドーピング検査で禁止物質が検出され、アンチ・ドーピング機関から連絡を受けたあと、必要に応じTUE申請を行うことができます

◆ 規則違反に対する制裁：柔軟な対応が適用される



未成年（18歳未満）アスリート / Minor

18歳に達していない者

* 国内最高レベルの競技会等に出場する際、親権者の署名した検査に関する同意書を大会に持参し、携帯する必要があります

* アンチ・ドーピング規則違反が決定し制裁が課された後、原則、一般開示（氏名などの公表）は**されません**（事案によっては公表される場合があります）



要保護者 / Protected Person

いずれかに当てはまる者

- 16歳に達していない者
- 18歳に達しておらず、RTP/TPに含まれず、オープン・カテゴリー*で国際競技大会で競技したことのない者
- 年齢以外の理由で、該当する国の法律に従い法的な能力が十分でないと判断された者

* オープンカテゴリー=年齢区分に限定された競技大会以外のこと

* 16~17歳の「エリート/ハイパフォーマンスアスリート」は、「要保護者には該当しません」

◆ 規則違反に対する制裁：柔軟な対応が適用される

* アンチ・ドーピング規則違反が決定し制裁が課された後、原則、一般開示（氏名などの公表）は**されません**（事案によって公表される場合があります）



サプリメントへのドーピング禁止物質の混入の危険性

サプリメントは食品であるため、医薬品のように含まれている成分が全て記載されているわけではありません。そのため、栄養成分表示や原材料表示には書かれていないドーピング禁止物質(以下、禁止物質)が含まれている可能性があります。

さらに食品は、医薬品と比較して製品の品質管理レベルが低いため、同じ工場で複数の製品を製造している場合には、他の成分が混入してしまう可能性もあります。これらがサプリメントに禁止物質が混入する理由であり、絶対に禁止物質が含まれていないと保証できない原因です。

実際に、2002年に国際オリンピック委員会の医事委員会によって行われた調査では、調査した634種類のサプリメントのうち94種類(14.8%)の製品に禁止物質が混入していたことが報告されています。実際に、表示されていない禁止物質が混入したサプリメント使用が原因のアンチ・ドーピング規則違反が国内のドーピング検査で複数件起きています。

そのため、サプリメントを使用する前に確認すべき事項を確認し、どうしても必要な場合にのみ細心の注意を払ってサプリメントを利用することをお勧めします。



信頼できる認証マーク



インフォームドスポーツ・チョイスはイギリスに本社を置くLGC社(Laboratory of Government Chemist.)が2007年から運営する世界最大のアンチ・ドーピング認証プログラムです。LGC社は50年以上のドーピングに関する研究や実績を誇り、300以上の科学論文を発表しています。WADAの定める禁止表国際基準に基づき製品を分析し、世界各国の主要サプリメントブランドが認証を取得しています。

BSCGは著名なオリンピック薬物検査のパイオニアであるドン・カトリン博士とその子息オリバー・カトリン氏により2004年に創設された禁止薬物検査機関です。WADA禁止リストにある274種類の禁止薬物の検査を行い、世界中のプロ選手や学生選手、そしてオリンピック競技のアスリートに安全を保証するもの。BSCGは処方箋、市販薬、そしてスポーツ分野で禁止されていない不法薬物も含めた211種を検査対象とした認定機関であり、潜在的に有害な薬物の汚染から身を守るユニークな保護プログラムを提供しています。



Sports Supplement
Reference

鳥取県薬剤師会相談窓口

- ■ ■ 地元薬剤師会としてフォローします。

薬剤師会ドーピング・ホットライン



鳥取県薬剤師会薬事情報センター

TEL 0859-38-1411

FAX 0859-38-5758

公認スポーツファーマシスト 競技団体担当者一覧表 2023

競技	メイン担当者	サブ担当者	サブ担当者
(財)サッカー協会	石和田 崇	北澤 ひとみ	世良田 淳
カヌー協会			
ボート協会			
アマチュアボクシング協会			
	所属 とみよし調剤薬局	所属 西伯病院	所属 ウェルネス薬局 米原6丁目店
	住所 西伯郡日吉津村大字日吉津1417-1	住所 西伯郡南部町優397	住所 米子市米原6-6-6
	Tel & fax 0859-39-3250 0859-39-3240	Tel & fax TEL 0859-66-2211 0859-66-4012	Tel & fax 0859-39-1115 0859-39-1125
ソフトテニス連盟	池田 望	島田 孝治	前田 拓馬
軟式野球連盟			
バドミントン協会			
ライフル射撃協会			
	所属 西部薬局	所属 アール薬局東福原店	所属 はなまる薬局
	住所 米子市車尾4-13-24	住所 米子市東福原6-5-6	住所 鳥取市南吉方3-514-3
	Tel & fax 0859-35-0778 0859-35-9721	Tel & fax 0859-46-0711 0859-46-0712	Tel & fax 0857-30-5120 0857-30-5122
テニス協会			
相撲連盟	大村 匡由	足立 満英子	石谷 匡広
剣道連盟			
自転車競技連盟			
柔道連盟			
	所属 大村薬局 城北店	所属 なべや薬局明治町店	所属 アド調剤薬局
	住所 鳥取市田島737	住所 境港市明治町17-1	住所 米子市東町192
	Tel & fax 0857-21-1999 0857-23-1999 携帯09031749378	Tel & fax 0859-21-0400 0859-47-0789	Tel & fax 0859-33-7958 0859-35-9530
トライアスロン			
フェンシング協会	安達 真紀子	土井 博司	並川 誠
スキー連盟			
セーリング連盟			
銃剣道連盟			
	所属 鳥取大学医学部付属病院	所属 すみれ薬局	所属 かも調剤薬局
	住所 米子市西町36-1	住所 米子市博労町3-83-1	住所 米子市両三柳1890-2
	Tel & fax 0859-33-1111	Tel & fax 0859-21-3001 0859-21-3002	Tel & fax 0859-30-0888 0859-30-0889
なぎなた連盟			
(財)水泳連盟	徳吉 早苗	門脇 正明	平岡 秀夫
アーチェリー協会			
鳥取陸上競技協会			
馬術連盟			
	所属 徳吉薬局とうぶ	所属 ローリエ薬局 安倍店	所属 福生薬局
	住所 鳥取市秋里723-4	住所 米子市安倍526-3	住所 米子市皆生3-6-1
	Tel & fax 0857-21-3360 0857-21-3380 携帯090-7965-4541	Tel & fax 0859-21-5534 0859-21-5535	Tel & fax 0859-46-0130 050-3606-2250
空手道連盟			

バスケットボール協会	徳吉 雄三	エンライト 千恵	長谷川 一将
ウェイトリフティング協会			
レスリング協会			
体操協会			
	所属 徳吉薬局 日赤前	所属 鳥取県立中央病院	所属 大崎薬局
	住所 鳥取市尚徳町114-15	住所 鳥取市江津730	住所 米子市大崎1242
	Tel & fax 0857-51-1822 0857-51-0380 携帯090-2293-2808	Tel & fax 0857-26-2271 0857-21-8439	Tel & fax 0859-48-2211 0859-48-2212
弓道連盟			
スケート連盟	中福 優子	真壁 寿広	門脇 美智子
ハンドボール協会			
ソフトボール協会			
バレーボール協会			
	所属 ウェルネス薬局 境港店	所属 トミヤ調剤薬局	所属 ローリエ薬局 角盤店
	住所 境港市蓮池町92-1	住所 日野郡日野町野田317-6	住所 米子市角盤町4-99
	Tel & fax 0859-21-2766 0859-21-2767 休日転送あり	Tel & fax 0859-72-1717 0859-72-2255 休日転送あり	Tel & fax 0859-21-9012
ホッケー協会	上原 隆	西村 俊広	加藤 美加
クレール射撃協会			
ボウリング連盟			
アイスホッケー連盟			
	所属 かも調剤薬局	所属 にしむら薬局 郡家店	所属 加藤調剤薬局
	住所 米子市両三柳1890-2	住所 八頭郡八頭町奥谷135-4	住所 倉吉市山根531-4
	Tel & fax 0859-30-0888 0859-30-0889 携帯09077701959	Tel & fax 0858-72-1230 0858-72-1357	Tel & fax 0858-26-6565 0858-26-8178
ゴルフ協会			
障害者スポーツ協会	西村 清孝	森本 聡	國森 達司
ラグビー・フットボール協会			
ベタंक			
バウンドテニス			
	所属 鳥取赤十字病院	所属 徳吉薬局しかの	所属 徳吉薬局とうぶ
	住所 鳥取市尚徳町117	住所 鳥取市鹿野町鹿野1092-1	住所 鳥取市秋里723-4
	Tel & fax 0857-24-8111 0857-24-5794 携帯080-42695534	Tel & fax 0857-84-1201 0857-84-1202	Tel & fax 0857-21-3360 0857-21-3380
山岳協会	小林 康治	福山 昭子	米田 瑞希
サーフィン協会			
スケートボード協会			
BMX			
	所属 小林薬局薬局マロニエ店	所属 野島病院	所属 小嶋薬局 昭和店
	住所 倉吉市昭和町1丁目25-1	住所 倉吉市瀬崎町2714-1	住所 倉吉市昭和町2-1
	Tel & fax 0858-23-1233 0858-23-1236 携帯08019022056	Tel & fax 0858-22-6231 0858-22-6843	Tel & fax 0858-22-6711 0858-22-6741
卓球連盟			



～まとめ～

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



キーワード

- ① **JADA(日本アンチドーピング機構)**
→様々な活動をしています。JADAホームページは確認しておいて下さい。
- ② **禁止表国際基準**
→毎年1月1日に更新されます。
その都度新しい情報を得る必要があります。
- ③ **グローバルDRO**
→ネットでアプリで簡単に検索できます。
- ④ **TUE(治療使用特例)**
→禁止物質を使いながら出場することもできます。
- ⑤ **スポーツファーマシスト**
→相談したいことがあればいつでも連絡してください。



スポーツファーマシスト